

愛知県環境情報紙

# 環境かわら版



<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

平成 28 年 2 月号 (第 237 号)



環境情報が満載 .....P.2~6



水質パトロール隊表彰式



狩猟の魅力まるわかりフォーラム  
(若手ハンターのトークセッション)



狩猟の魅力まるわかりフォーラム  
(狩猟の模擬体験)



エコアクションを  
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



## 環境調査センター研究発表会を開催します！

愛知県環境調査センターは、県の環境行政を科学的・技術的に支える調査研究機関として昭和45年に設置されました。大気や水質等の環境基準の適合状況を把握するための調査を始め、事業場からのばい煙や排出水の測定、また、廃棄物、騒音、有害な化学物質の測定などを実施しています。さらに、県の良好な環境を確保するための調査・研究を行っています。

このたび、「平成27年8月の浮遊粒子状物質(SPM)の高濃度現象の解析」や水生生物の保全に係る環境基準項目である「ノニルフェノールの測定方法に関する検討」など、当センターの研究成果や業務内容を県民の皆さんに知っていただくため、研究発表会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

- 1 日時 2月9日(火) 13:30~16:00
- 2 場所 環境調査センター 1階講堂  
(名古屋市北区辻町字流7-6)
- 3 定員 60名(先着順)
- 4 申込方法

Webページから申込書をダウンロードし、2月5日(金)までにFAX又はEメールでお申し込みください。

### 5 申込先

FAX:052-991-6241

Eメール:kankyo-c@pref.aichi.lg.jp

### <研究発表会プログラム>

- 1 平成27年8月におけるSPM高濃度現象の解析
- 2 愛知県におけるPM2.5中のシュウ酸に関する一考察
- 3 環境水中ノニルフェノールの測定方法に関する検討
- 4 イオンクロマトグラフによる六価クロムの定量の可能性について
- 5 等価騒音レベルを用いた新幹線鉄道騒音の評価について
- 6 愛知県内における土壤中の放射能について

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/27happyoukai.html>)



環境調査センター 企画情報部  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

## 連載⑩ エコリンクあいちだより

<http://aichi-eco.com/>

エコリンクあいちに日記を投稿している「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の活動を紹介します。

同研究所は、パートナー企業から環境の取組に関する課題を学生に提示し、その解決プランを学生が研究し、パートナー企業へ提案するものです。

### ○ チーム・三井住友銀行の活動

三井住友銀行では、企業の環境配慮状況を勘案して融資を行う「SMB C環境配慮型評価融資」等の環境ビジネスを展開しています。学生達は、この融資制度を活用して、地元で環境配慮商品を作っている中小企

業を対象に、製品デザインなどを学生が制作するサービスを受けられる融資特典「あいちエコもの+」を提案しました。詳細はFacebookをご覧ください。

<https://www.facebook.com/kagayaken>



三井住友銀行担当者と議論する学生



みんなで Let's エコアクション！

あいちエコアクション広報部

**OS★U** おおの さき  
Osui Super Idol Unit 大野 咲貴

環境政策課 企画・広報グループ

電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

## 「フロン排出抑制に関する講習会」の参加者を募集します

「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」が昨年4月に改正・施行され、フロン類の製造から廃棄までのライフサイクル全体を見据えた包括的な対策が図られることとなりました。

愛知県では、法の趣旨の更なる周知徹底を図るため、関係機関とともに、フロン排出抑制に関する講習会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

1 日時 2月18日(木) 午前の部：10:00～12:30  
午後の部：13:30～16:00

※午前の部も午後の部も、内容は同じです。

2 場所 愛知芸術文化センター12階 アートスペースA (名古屋市東区東桜一丁目13-2)

3 主催 愛知県フロン回収・処理推進協議会、  
(一社)日本冷凍空調設備工業連合会(日設連)、  
中部冷凍空調協会、愛知県

### 4 内容

「フロン対策の必要性」

「フロン排出抑制法に基づく事業者の責務」

日設連 事務局次長 おおさわ つとむ 大沢 勉 さん

### 5 申込方法

次の Web ページより申込書をダウンロードし、2月10日(水)までに FAX 又は E メールでお申し込みください。

(参加無料、先着順、各回定員 180 名です。)

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki/280218koushukai.html>)

### 6 申込先

FAX：052-953-5716

Eメール：taiki@pref.aichi.lg.jp

〔 大気環境課 規制グループ  
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン) 〕

## 水質事故未然防止対策説明会を開催します

工場・事業場から河川などの公共用水域に油などが流出するといった水質事故が、近年数多く発生しています。水質事故が発生すると、魚が死んだり、取水に影響するなど、大きな被害をもたらすことがあります。

こうした水質事故の未然防止を図るため、県内の工場・事業場における関係部門の実務担当者を主な対象として、水質事故未然防止対策説明会を開催します。本説明会では、過去の水質事故への対応事例等を踏まえ、主な事故のパターンや原因、未然防止のポイント等について説明します。

水質事故を未然に防止するには、普段から事故を想定した対策を行うことが必要不可欠です。また、水質事故は原因者の責任であり、事故が発生すると対応に多大な手間と費用がかかります。水質事故を未然に防止するため、是非ご参加ください。

1 日時 3月11日(金) 14:00～16:00

2 場所 愛知県三の丸庁舎8階 大会議室  
(名古屋市中区三の丸2丁目6番1号)

### 3 内容

(1)水質事故の概要及び県内の発生状況

(2)要因及び必要な対策について

(3)県内事業場の取り組み事例紹介

### 4 申込方法

次の Web ページから申込書をダウンロードし、FAX 又は E メールでお申し込みください。

(参加無料、先着順、定員 120 名です。)

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizu/00006.html>)

5 申込先 FAX：052-961-4025

Eメール：mizu@pref.aichi.lg.jp

〔 水地盤環境課 規制・土壌グループ  
電話 052-954-6222 (ダイヤルイン) 〕

## 優れた活動を行った水質パトロール隊を表彰しました

愛知県では、県民の水環境への関心を高め、生活排水対策の大切さを理解してもらうことを目的として、県内の小中学生を中心としたグループに、県が提供する化学的酸素要求量（COD）の水質簡易測定試薬を使って川や池の汚れ具合を調べてもらう「水質パトロール隊事業」を毎年実施しています。

平成27年度は51グループ（1,198名）が参加し、疑問からさかのぼって水質、生きもの調査を進める活動などを行っている岡崎市立<sup>うえじ</sup>上地小学校4年4組をはじめ19グループを12月24日、愛知県本庁舎講堂にて表彰するとともに、表彰式の最後には、表彰式に参加したグループ全員で記念撮影を行いました。

当日は満面の笑みで賞状を受け取り、展示されていた他グループの受賞レポートを熱心に読む子ども達の姿がみられました。



表彰状授与

### 受賞団体一覧

最優秀賞	岡崎市立上地小学校4年4組
優秀賞	瀬戸市立古瀬戸小学校 川の調査隊
	瀬戸市立品野台小学校4年生 しなっしースターウォータース8
	Wわたなべたんけん隊 Peach
	豊明エコキッズ
佳作	岡崎市立東海中学校自然科学部
	刈谷市立朝日中学校 科学部
	ゴーウィングス
	本地の農業用水調査隊
	モリコロ自然探検隊
特別賞	あま市立甚目寺小学校4年生 われら環境調査隊（川グループ）
	安城市立高棚小学校4年生
	尾張旭市立渋川小学校4年生
	春日井市立東部中学校 Triathlon team Dragon
	幸田一団カブ隊 1組 月
	幸田一団カブ隊 2組 星
	佐奈川調査隊
	碧南市立鷺塚小学校4年生
	ゆうなグループ



〔水地盤環境課 調整・生活排水グループ  
電話 052-954-6219（ダイヤルイン）〕

## ゴルフ場農薬水質調査を実施しました

愛知県、岡崎市、春日井市及び豊田市は、ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止を図るため、環境省の定めた「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁防止に係る暫定指導指針」に基づき、県内のゴルフ場排水等水の調査を実施しました。

### 1 調査の概要

#### (1) 調査時期及び実施回数

平成27年の春季又は秋季に1ゴルフ場あたり1～2回実施

#### (2) 調査実施ゴルフ場数

愛知県所管 9、岡崎市所管 5、春日井市所管 2、豊田市所管 10の計26ゴルフ場

#### (3) 調査内容

ゴルフ場の主要な排水口・調整池から排出される水に含まれる農薬（殺虫剤、殺菌剤、除草剤、植物成長調整剤）を調査

### 2 調査結果

26ゴルフ場、延べ378検体の結果は、すべて暫定指導指針に定める指針値以下でした。

県及び各市は、引き続きゴルフ場農薬水質調査を実施し、ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に努めていきます。



ゴルフ場調整池での採水

〔水地盤環境課 規制・土壌グループ  
電話 052-954-6222（ダイヤルイン）〕

## 「狩猟の魅力まるわかりフォーラム」が開催されました

近年、ニホンジカなどの増えすぎた野生鳥獣が、生態系や農林水産業に大きな被害を与えています。

一方で、増えすぎた野生鳥獣を狩猟などにより捕獲し、自然と人の営みとのバランスを担うハンターの減少と高齢化が進んでいます。

そこで、ハンターの魅力や狩猟の実態を紹介するため、環境省主催の「狩猟の魅力まるわかりフォーラム」が、12月26日に名古屋市中村区で開催されました。



猟具の紹介  
(左)箱わな、(右)模擬銃



当日は約300名の一般参加があり、運送会社で働くかたわら、狩猟生活をつづったエッセーの執筆活動などもしている千松 信也さんによるトークショーや、若手ハンターによるトークセッション、狩猟の模擬体験、猟具やイノシシとニホンジカを材料としたジビエ料理の紹介、狩猟免許取得相談などが行われました。



ジビエ料理の紹介



狩猟免許取得相談

〔自然環境課 野生生物・鳥獣グループ  
電話 052-954-6230 (ダイヤルイン)〕

## エコ川柳優秀作品を紹介します

愛知県では、県民の皆さんに日常生活の中で地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」に、より一層取り組んでいただくため、「エコアクション」を題材としたエコ川柳を平成27年9月2日から10月16日まで募集しました。

応募総数692作品の中から、優秀作品20作品(優秀賞5作品、佳作15作品)をエコ川柳審査委員会(委員長:中日川柳会相談役 戸川 嘉山さん)において選考し、11月14、15日にアスナル金山などで開催した「Let's エコアクション in AICHI」のブースにおいて展示、紹介をしました。

今回はその中から優秀賞の5作品を紹介します。



エコ川柳展示ブース

- 温暖化止める気持ちを熱くして  
(安城市、久保 美智代さん)
- 休みたいエアコンだって思ってる  
(豊田市、鳥谷 結菜さん)
- タオルからぞうきんになるエコ出世  
(大府市、山本 千尋さん)
- 袋重にも包装されて森が消え  
(春日井市、ペンネーム 三太 慶寿さん)
- 飼いネコにエコと名付けた母の知恵  
(尾張旭市、ペンネーム たまさん)

川柳に込めた思いや、審査委員会委員長 戸川さんの講評は次のWeb ページを御覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000088099.html>)

〔環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)〕



## 連載 「生態系ネットワーク形成の取組紹介（6）」

生態系ネットワーク形成の取組紹介の最終回となる今回は、尾張北部及び渥美半島の生態系ネットワーク協議会について紹介します。

### 1 尾張北部生態系ネットワーク協議会

#### (1) 特徴

尾張北部地域（瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市）は濃尾平野の東にあり、市街地の近くに丘陵地の森が広がっています。人々の暮らしを守っているこの森を、親しみと誇りをこめて《うらやま》と呼び、「《うらやま》の豊かな自然を再発見しよう」をテーマに、住民や土地所有者、行政などが協力し、《うらやま》から地域全体に自然を広げていけるよう取組を進めています。

#### (2) 協議会の取組

#### ア 設立記念フォーラムの開催（平成26年1月）

このフォーラムには、NPO 関係者や大学生、自治体職員に加え、地域の小学生からお年寄りまでが参加されました。身近な森や里山、自然の保全についての活動発表等を通じて、みんなで《うらやま》の価値について考えるきっかけとなりました。

#### イ 生物多様性地域共同戦略策定のための学習会の開催（平成26年8月～）

協議会では、地域における生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する戦略を4市共同で策定する可能性を探るため、これまでに5回の学習会を開催し、まずは地域財産の抽出と評価等を行いました。引き続き抽出した地域財産の



学習会の様子

活用と保全に関する計画の作成に向けた学習会を継続していきます。

### 2 渥美半島生態系ネットワーク協議会

#### (1) 特徴

渥美半島は、海あり山あり、半島特有の豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、全国有数の農業地域であり、本県有数の観光地としても知られています。

また、渥美半島において、持続可能な地域振興につながる生物多様性の保全活動が展開されるよう「海と大地の恵みを活かして、人と自然を未来につなぐ渥美半島の創造」をテーマに、多くのNPO、事業者等が参加する協議会が設立されました。

#### (2) 協議会の取組

平成27年7月26日、設立記念フォーラムを田原市で開催しました。

愛知学泉大学の矢部 隆教授による基調講演「渥美



パネル展示の様子

半島のユニークな動物たち」、NPO等による取組発表やパネル展示など、渥美半島の生物多様性保全に向けた協議会活動の第一歩を記しました。

県では、これまでに紹介した7つの協議会のほか、西三河南部及び尾張南部においても協議会の設立に向けて取り組んでおり、生態系ネットワークの形成をさらに推進していきます。

自然環境課 生物多様性保全グループ  
生態系ネットワークグループ  
電話 052-954-6475, 6229 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
平成28年2月1日発行(第237号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

#### 編集後記

もうすぐ立春ですが、まだ寒い日はありそうです。冬は多くの生き物が身を潜める時期ですが、よく見てみると蓄(つぼみ)がわずかにふくらんでおり、意外なところに、春に向けた命の気配を感じることができます。

寒いとつい、少しの外出でも暖房の効いた車に頼りがちですが、暖かな日には徒歩で出かけ、隠れた春の気配を探してみるのもいいかもしれませんね。  
(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。